



飯綱町コミュニティスクールだより



No.21 令和3年9月1日 飯綱町コミュニティスクール

飯綱東高原 飯綱町の豊かな自然環境を満喫した小学生

飯縄山頂からの景色

町内には登山、カヌーができる山や湖等自然に恵まれた環境があります。町のシンボルでもある飯縄山には、例年5年生が登っています。西側にある登山口から登り始めることが多く今年もそのように行われました。その地点の標高は1200mあります。歩き始めてしばらくは、緑に囲まれた森が続きます。中腹からは、視界が開けて飯綱町方面、長野市方面、天気の良いと富士山まで見ることができます。ダイナミックに変化に富んだパノラマ風景は登山者に楽しみを与えてくれます。

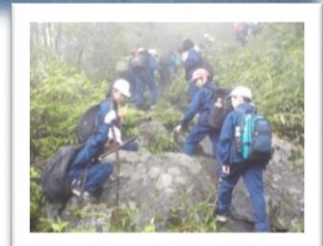
飯縄山登山は5、6年生にとって一学期締めくくりの学習になりました。

三水小学校では5、6年生が7月1日に一緒に登山を行いました。6年生は昨年コロナ禍でできなかったのが本年度実施しました。5年生にとって6年生と一緒に登山したことは大変心強かったと思います。

牟礼小学校は、5年生が7月7日、6年生が7月16日にそれぞれ実施しました。6年生は、三水小同様コロナ禍で昨年できませんでした。当日6年生は3年生のときに鏡を使った光の反射の学習をしたことを生かし、持参した手鏡で山頂から牟礼小学校、町民会館等の間で先生や保護者と光通信を行いました。標高1917mの山頂と無事につながりました。

それぞれの学校の5年生は、登山後その日は帰宅して、翌日カヌー体験、キャンプファイヤー等学校毎の計画で高原学習を満喫しました。学校から車で30分もかからずに自然と触れ合える環境を生かして、フットワークよく活動できた2日間でした。

新型コロナウイルス感染症予防を踏まえて登山、キャンプの学習に可能な範囲で取り組みました。新しい生活様式の学校生活は続きますが、仲間と助け合い励まし合う活動は今後も大事にされていくものと思います。子どもたちの心を一段と逞しく成長させた取り組みとなりました。



森と湖等の自然に恵まれた環境で友と協力しながら楽しめた野外活動

マスク寄贈

飯綱中学校家庭科クラブ

家庭科クラブでは、昨年度より新型コロナウイルス感染予防のためにマスクづくりを行ってきました。今回、ストックしてあるマスクを、タンザニアで新型コロナウイルス感染予防に役立てても



らおうと、タンザニア出身の小林フィデアさんを通じて送ることになりました。7月14日にフィデアさんに学校へきていただき、藤木校長先生立ち合いの下で渡しました。

次代を担う中学生が「国際交流」と「新型コロナウイルス感染予防」とに、自分たちでできることを通して積極的に取り組んでいることは、心強い姿です。

高坂りんご



旧牟礼西小で栽培していた高坂りんごを、一昨年に牟礼小学校校庭東側道路横に移植しました。今年はたくさん実をつけています。大木でしたので、移植は木本体に大きな負担になったと思います。鈴なりに実がなっている様子を見ると、移植前のような勢いを取り戻して元気な状態になってきたことがうかがえます。



隣では、昨年の3年生が植樹したりんごの苗木6本が葉で覆われるようになりました。将来、りんごの並木道となるようなイメージも浮かんできます。

赤塩焼き

6年生記念タイル張り



飯綱町役場が新しい建物になる機会に、第1庁舎と第2庁舎をつなぐ通路の壁面に、三水小と牟礼小の6年生が赤塩焼きの手作りタイルをはめ込みました。図工の時間等を使って粘土を練り、成形し、釉薬をつけ、焼いて仕上げました。はめ込みの作業の合間には新しくなった庁舎のオープン前の状態を役場職員の案内で見学をしました。

これから役場に立ち寄る度に、今回のことが思い出されることと思います。